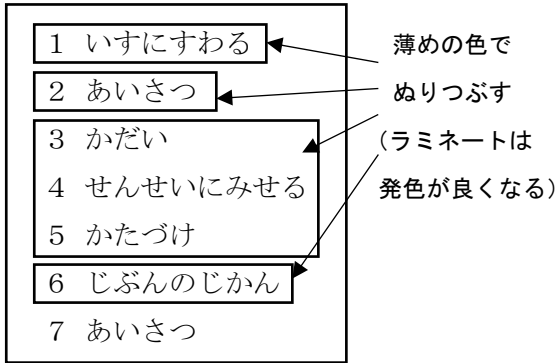


自作教具の活用事例

【作品名】 本時の流れ確認シート ver.2	【学校名】 日立市立水木小学校
【活用できる領域・教科等】 毎時間の授業の中で	【制作者名】 川崎 潤
【制作の意図】 1時間の授業の流れについて理解するとともに、「今から私は何をするのか」や、「私は次に何をすればよいか」など、児童一人一人が自分で困った時に見て確認できるようにする。	【使用方法】 黒板の隅や机の上など、児童が見て確認しやすい場所に置く。学級に入室した時に「今日は何をするんだろう。最初に確認しよう」、課題が終わった時に「課題が終わった、次は先生に見せよう」、「自分は自分の時間だけど、〇〇さんはまだ課題をやってるな、静かにすごしよう」など、誰もが確認できる形にする。自分でできる児童には、色や番号で確認させてもよい。
【制作上の工夫】 「準備」「活動」「片付け」「自分の時間」の4つに分け、薄く色を付けた。児童にとっても、自分や友達の行動が周囲からどう映るかがはっきり分かるようにした。	【見取り図】 カラー印刷のあと、ラミネートする。 項目の名前や数、ぬりつぶしの色は、学級や児童の実態に合わせて決めてもよい。  1 いすにすわる 2 あいさつ 3 かだい 4 せんせいにみせる 5 かたづけ 6 じぶんのじかん 7 あいさつ 薄めの色で ぬりつぶす (ラミネートは 発色が良くなる)
【材料・材質・部品等】 ・ラミネートフィルム（市販・プラスチック製） ・紙（サイズは用途に合わせて変える。壁や黒板に掲示する際はA3～B4サイズが目安。A5～B6サイズ程度まで小さくすると、児童機の端に貼っておくこともできる。）	【使用効果と応用発展】 取りかかりが遅れがちな児童でも、流れに合わせて活動できるようになった。学習後の「自分の時間」を楽しみにする児童にも、学習意欲の向上が見られた。交流学級の机にも付けたいと申し出る児童には、小さいカードに紐を付けたものを机脇のフックに掛けて活用できるようにした。